

一般演題・ポスター（日本サイコオンコロジー学会）

ポスター発表

発表者在席時間《10月14日（土）18:10～18:40》

ポスター会場（4F／研修室、第一グループ活動室）（5F／第二～四講習室）

P1 精神症状

P1-1 がん患者の術後せん妄に対する術前不安の影響：前向き観察研究

国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科／国立がん研究センター社会と健康研究センター 健康支援研究部 和田 佐保

P1-2 がん性疼痛患者のケアに自閉症スペクトラムという視点が重要であった症例

名古屋大学 保健管理室 メンタルヘルス部門 長島 渉

P1-3 食道がん手術を受ける患者への多職種せん妄介入プログラムの作成とその実行可能性の検討

神奈川県立がんセンター 緩和ケアセンター 谷島 和美

P1-4 手術前がん患者の抑うつ傾向と対処様式の影響要因の検討

岡山大学病院 周術期管理センター 市川 あい

P1-5 同種造血幹細胞移植患者を対象とした精神腫瘍科による早期介入の試み

国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科 遠藤 麻恵

P1-6 傾向困難な終末期患者に対して使用したアセナピン舌下錠の効果検討

小田原市立病院 緩和ケアチーム 心身医療科 竹内 文一

- P1-7 抑うつ状態を呈したがん患者の近赤外線スペクトロスコピーによる前頭部・側頭部脳機能評価**
国立病院機構高崎総合医療センター 精神科 井田 逸朗
- P1-8 総合失調症のあるがん患者が外来化学療法を継続できた1例**
医療法人 明和病院 看護部 秋吉由利子
- P1-9 高容量のオピオイド使用の背景に注意欠陥多動性障害がみられた頭頸部がん患者への対応**
熊本大学医学部附属病院 神経精神科 城野 匠
- P1-10 人格障害と診断された配偶者を有する自閉症スペクトラムの肺がん患者へのFOLFIRINOX療法の1治療経験**
山形大学附属病院 腫瘍内科 鈴木 修平
- P1-11 大学病院の緩和ケアチームへ紹介されたせん妄対応についての報告：その現状と課題**
産業医科大学病院 緩和ケアセンター 久保 隆光
- P1-12 緩和ケア病棟において経験した肺癌症例の精神症状に関する検討**
札幌清田病院 緩和支持医療センター 緩和ケア病棟 高橋 元代
- P1-13 緩和ケア病棟入院中のがん患者における嗅覚、味覚、不安・抑うつの経過と関連性についての臨床試験**
大阪大学大学院薬学研究科 医療薬学分野／市立芦屋病院 薬剤科 仁木 一順
- P1-14 緩和ケアにおける非精神科医による精神症状の評価の正確性、依頼理由と精神科診断との比較から**
熊本大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 森枝 悟
- P2 緩和ケア**
- P2-1 緩和ケア病棟で主治医との会話を拒否した事例**
市立芦屋病院 緩和ケア内科 松田 良信
- P2-2 当院緩和ケアチームが介入した認知症がん患者の特徴**
熊本大学医学部附属病院緩和ケアチーム／熊本大学大学院医学教育部神経精神医学分野 一美奈緒子
- P2-3 がん患者における難治性嘔気・嘔吐に対するミルタザピンの効果**
広島市立広島市民病院 精神科 倉田 明子
- P2-4 前立腺癌化学療法中に意識障害を発症し診断に難渋した一症例**
大阪大学 大学院医学系研究科 精神医学 石井 良平
- P2-5 終末期がん患者のせん妄に対して、アセナピンを投与した7症例について**
ベルランド総合病院 緩和ケア科 山崎 圭一
- P2-6 当科でのせん妄に対するペロスピロン使用経験**
大崎市民病院 本院診療部 腫瘍内科 高橋 義和
- P2-7 化学療法中の患者を含む腫瘍内科患者における予後予測法の精度と有用性に関する検討**
石巻赤十字病院 腫瘍内科 高橋 秀和

P2-8 "睡眠補助薬"としてのケタミン

鶴巻温泉病院 緩和ケア病棟 奥津 輝男

P2-9 緩和ケア病棟入院中にアカシジアとせん妄を発症し、症状コントロールに難渋した40歳代乳がんの症例

宝塚市立病院 緩和ケア病棟 岡山 幸子

P2-10 がん患者の予後規定因子としてのせん妄～認知機能障害との関連

横浜市立大学附属病院 緩和医療部 吉見 明香

P2-11 A Y A世代のがん患者が抱える苦悩の緩和にケミカルコーピングを認めた一例

藤沢湘南台病院 看護部 林 えり子

P2-12 当院緩和ケアチームにおける精神的問題への依頼の検討（平成28年度）

関西医科大学 精神神経科学教室／関西医科大学総合医療センター 緩和ケアチーム 吉村 匡史

P2-13 統合失調症の治療を拒否した乳がん患者の「自分らしさ」について

前青梅市立総合病院 リエゾン精神看護専門看護師 野村 智美

P2-14 疼痛の原因が筋筋膜性疼痛症候群であった担癌患者の1例

奈良県立医科大学附属病院緩和ケアセアンター 田原 一樹

P2-15 予後3ヶ月と診断されたがん患者の意思決定を支えるチームアプローチの効果

安曇野赤十字病院 緩和ケアチーム 看護部 堀 華乃子

P2-16 A氏へのからだを介したアプローチに対する一考察

医療法人玉昌会 高田病院 心理相談室 西 康子

P2-17 子宮肉腫終末期にある壮年期女性の希望を支えるチーム医療

高知大学医学部附属病院 がん治療センター 緩和ケアチーム 三本 芳

P2-18 家族のいないがん患者への関わり～全人的苦痛の緩和に向けて～

医療法人春秋会 城山病院 緩和ケアチーム 河野 恵

P2-19 ランバート・イートン症候群を併発した肺がん患者に対する緩和ケア

～希少疾患を抱える患者との関係性構築までの過程～

医療法人 東札幌病院 西棟緩和ケア病棟 山口 弘

P2-20 介護老人保健施設における看取り事例の経過と問題点

介護老人保健施設「あけみおの里」 石川 清司

P2-21 「緩和ケアへの移行」の難しさ～苦悩する2症例を通して

社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 心理相談室 田畠 優美

P2-22 当院におけるアドバンス・ケア・プランニング(ACP)に関する取り組み

川口市立医療センター 精神腫瘍科 比嘉 謙介

P2-23 緩和ケア患者の意思を尊重されず家族の意向で気管切開術に至った症例

戸畠リハビリテーション病院 緩和ケア病棟 看護科 是永伊代奈

P2-24 働くことを希望し続けた終末期がん患者への支援

一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 緩和ケアチーム 渡邊 祝子

P2-25 意識障害を呈した終末期患者との関わり方を家族指導した一症例

～ユマニチュードの技法を通じて～

奈良県立医科大学附属病院 医療技術センター リハビリテーション2係 橋本恵梨子

P2-26 余命1週間と宣告を受けた患者の看護を通して～患者・家族が満足する看取りを考える～

苦小牧東病院 看護部 緩和ケア病棟 佐藤 早苗

P2-27 初診時に進行肺臓がんと診断、余命告知を受けたために混乱し、

強い喪失体験が発生した患者への支援を考える

慈正会丸山記念総合病院 外来化学療法室 看護部 柳 亜希子

P2-28 肺癌患者が抱く唯一の希望としての化学療法から真の希望を導き出せた

スピリチュアルケアの一例

医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 黒田 宏美

P2-29 進行がん患者への精神的・心理面へのケアとしてのアートセラピーの機能の検討

聖マリア学院大学 看護学部 安藤 満代

P3 心理社会

P3-1 当院の緩和ケアチームにおける心理士の活動の現状と課題

京都第一赤十字病院 精神科（心療内科）／京都第一赤十字病院 緩和ケア内科 岡本 恵

P3-2 介護保険事業所で勤務する職員の看取りに関する意識

朝倉医師会病院 がん相談支援センター 梅木 倫子

P3-3 急性期病院におけるがん患者への臨床心理士の取り組み

～総合相談室・がん相談支援センターの活動報告～

川口市立医療センター 総合相談室・がん相談支援センター 西内 俊朗

P3-4 緩和医療における臨床心理士の役割の「今」と「これから」－「教育」と「臨床」をつなぐ－

駒澤大学 文学部 心理学科 萩木 博子

P3-5 緩和ケア病棟における臨床心理士の役割－ある事例を通して医師の立場から思うこと－

兵庫県立柏原病院 内科（緩和ケア病棟） 板倉 崇泰

P3-6 緩和ケア病棟に入院した自閉症スペクトラム障害のある

急性リンパ性白血病患者への臨床心理士の関わり

兵庫県立柏原病院 緩和ケア病棟／宝塚市立病院 心療内科 仲村 真理

P3-7 がん患者を対象とした心理士による心理相談と、精神科によるリエゾン診療

徳島市民病院 精神科 多田 幸雄

P3-8 怒りとともに「しびれ」を繰り返し訴えるがん患者への包括的サポートについて

みやぎ県南中核病院 がん診療相談支援室 高橋 恵子

- P3-9 終末期がん患者に対し短時間瞑想法の導入を行った一例
～マインドフルネス瞑想から慈悲の瞑想へ～
川口市立医療センター総合相談室・がん相談支援センター／上智大学大学院 総合人間科学研究科 日吉 圓順
- P3-10 乳がん患者へのマインドフルネス認知療法の有効性 —無作為化比較対照試験—
慶應義塾大学看護医療学部 朴 順禮
- P3-11 「希望をつなぐということ」～ターミナル期におけるがん患者さんの語りより～
鹿児島医療センター がん相談支援センター 木ノ脇真弓
- P3-12 当院でのがん患者に対する禁煙外来の取り組みについて
～禁煙治療成功・失敗に関連する要因とは？～
国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科 西村 知子
- P3-13 外来化学療法患者の不安に関する「おもい」の特性を明らかにする
県民健康プラザ 鹿屋医療センター 若林理恵子
- P3-14 知的障害を伴う中年期独身乳がん患者への心理的サポート
市立芦屋病院 緩和ケア内科 金井菜穂子
- P3-15 がんの予防と治療を目指す心理療法「オートノミートレーニング」の事例研究
九州大学 基幹教育院 永野 純
- P3-16 がん患者に対する行動活性化療法プログラムの可能性
国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科 平山 貴敏
- P3-17 終末期がん患者に対するコラージュ療法が果たす役割の検討
—4事例のコラージュ表現を通して—
京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 茅野 綾子
- P3-18 緩和ケアチーム体制の変化が臨床心理士の介入形態に及ぼす影響
～徳島大学病院でのチーム活動の検討から～
徳島大学病院 がん診療連携センター 谷口 早紀
- P3-19 緩和ケアチームにおける臨床心理士と精神科医師との連携について
独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター 緩和医療科／
独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター 精神科 石井あかね
- P3-20 『コラージュ療法を用いたグループワークの試み～援助者のケアのために』
J R 札幌病院 前田 整
- P3-21 医療者への欲求が多い終末期患者への関わり ～倫理問題の乗り越え方～
中部労災病院 看護部 水野 志保
- P3-22 「治るより帰りたい」と訴えた急性骨髄性白血病患者の心理面接
～繰り返し見る「夢」を扱った1症例
四国大学 生活科学部生活科学科 医療心理学研究室／
徳島大学大学院医科学教育部医学専攻博士後期課程 精神医学分野 上岡 千世

- P3-23 緩和的放射線療法を受ける肺がん患者からレジリエンスの強化を考える一例
新潟厚生連長岡中央総合病院 看護部 三浦一二美
- P3-24 夫を支えた妻が臨床心理士との対話を通し悲嘆からの回復へと向かった一事例
嶋田病院 緩和ケア病棟 臨床心理士 寺戸 沙織
- P3-25 5年間病と付き合った患者の「自身の死」の捉え方の変化
独立行政法人国立病院機構広島西医療センター 館野 一宏
- P4 家族・遺族**
- P4-1 小児がん患者の親の心的外傷後成長に関連する要因の検討－親の要因間の検討を加えて
東京医科歯科大学医学部附属病院 心身医療科 中山 菜央
- P4-2 化学療法を受けるがん患者のパートナーの「心の健康および気持」：
テキスト・マイニングを用いた分析
東京医科歯科大学大学院 心療・緩和医療学分野 石塚 典子
- P4-3 自身の死の意味づけを「死後生」に求めた事例の検討
独立行政法人国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 支持・緩和療法チーム／薬剤部 小杉 孝子
- P4-4 緩和ケアチームによる家族サポートを最期まで行った終末期がん患者の1症例
公立岩瀬病院 緩和ケアチーム 佐藤 友香
- P4-5 血液腫瘍患者の家族看護～グリーフケアに繋がる家族看護とは～
N T T西日本大阪病院 看護部 知念 聖子
- P4-6 東札幌病院の遺族ケアについての活動報告
東札幌病院 MSW課（地域連携室） 原 優
- P4-7 自分の思いを表出できる環境を求めていた遺族に医療ソーシャルワーカーが
行ったグリーフケアからの考察
医療法人東札幌病院 MSW課（地域連携室） 前さこ 舞
- P4-8 名古屋市立大学病院における小児遺族会の経験——4年間の変遷と継続的運営の課題
名古屋市立大学病院 緩和ケア部／名古屋市立大学病院 医事課 小島菜々子
- P4-9 亡くなられた患者さまの思いをたどって
～残された夫がグリーフを乗り越えるために私たちができること～
耳原総合病院 緩和ケア病棟 看護部 渡邊真由美
- P4-10 AYA世代の子どもを亡くした親への実態調査報告
公益財団法人がんの子どもを守る会ソーシャルワーカー 樋口 明子
- P4-11 緩和ケア病棟遺族会における臨床心理士の役割
四国がんセンター 井上 実穂

P5 看護

- P5-1 積極的治療に生きる希望を持っていた終末期肺がん患者の生きる希望が変化した過程における看護介入の検討

医療法人 溪仁会 手稻溪仁会病院 小林ちさと

- P5-2 乳がん再発後の患者が抱いていた性に関する夫婦生活困難について

前青梅市立総合病院 リエゾン精神看護専門看護師 野村 智美

- P5-3 「自宅で過ごしたい」を支える～訪問看護師との連携についての一考察～

富山市立富山市民病院 緩和ケア内科外来 金丸 修子

- P5-4 治療を希望していた終末期がん患者の在宅療養開始から在宅看取りまでの看護支援

那須赤十字訪問看護ステーション 高野 嘉子

- P5-5 寄りそう看護を通じ看護師にとって大切な事がなにかを学んだ一症例

株式会社飯塚病院 緩和ケア病棟 水原絵里華

- P5-6 痛みで苦しむ患者を前にして、看護師は何ができたのか

共愛会戸畠リハビリテーション病院 看護部 緩和ケア病棟 小坂 美那

- P5-7 がんを合併した統合失調症患者の看護における現状と課題

－精神科看護師のケアに着目した看護教育の提言－

いわき明星大学 看護学部看護学科 精神看護学 荒井 春生

- P5-8 がんを合併した統合失調症患者の看護における現状と課題

－看護師と患者の語りデータ・ベースの構築－

いわき明星大学 看護学部看護学科 精神看護学 荒井 春生

- P5-9 患者に抱いた陰性感情とどう向き合うか－他職種カンファレンスが有効であった一例－

国立国際医療研究センター病院 看護部 物集由紀子

- P5-10 看護師の言葉に不快感と失望を感じた女性へのアピアランス支援を考える

新潟厚生連 三条総合病院 藤本小夜子

- P5-11 看護師へ敵意を抱いていたせん妄患者の一例

飯塚病院 中央6階病棟 池川 尚美

- P5-12 コミュニケーションツールとしての苦痛スクリーニングシートの有用性について

信州大学医学部附属病院 看護部 内藤 綾子

- P5-13 緩和ケア病棟看護師に対するスピリチュアルケア学習会の効果の検討

－スピリチュアルケア能力測定尺度を用いて－

徳島県立三好病院 浅野 博美

P6 コミュニケーション

- P6-1 地方一般病院にて外科医が開催したCSTの報告-水戸CSTでの経験-

水戸済生会総合病院 外科 高久 秀哉

- P6-2 抗がん剤治療中止を伝えられる際の説明に対するがん患者の意向

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所自殺総合対策推進センター 藤森麻衣子

- P6-3 終末期がん患者および家族における療養先の意思不一致がQOLに及ぼす影響：
一次解析に関する結果報告
東京医科歯科大学大学院 心療・緩和医療学分野 市倉加奈子
- P6-4 意思疎通がとりづらい患者と家族のコミュニケーションに対する支援に関する研究
東北大学大学院 教育学研究科 人間発達臨床科学講座 臨床心理学分野 長谷川素子
- P6-5 子育て中のがん患者が病気を子どもに伝えることと親の心理的健康との関連
早稲田大学大学院人間科学研究科 小川 祐子
- P6-6 がん患者が子どもへ病気を伝えたことによる心境変化
独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院 玉城 結
- P7 社会支援**
- P7-1 外来化学療法を受けるがん患者の栄養相談の希望とその背景要因
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 心療・緩和医療学分野 腰本さおり
- P7-2 がん体験者と家族が語りあえる場づくりとその効果
福島県立医科大学会津医療センター附属病院 患者支援センター 平野 千穂
- P7-3 当院がん相談サロンにおける「女性のがん交流会」の活動報告
札幌医科大学 アイン・ニトリ緩和医療学推進講座 米田 舞
- P7-4 がん相談支援センターにおける患者サロンの実践報告
静岡赤十字病院 医療社会事業部 療養支援課 浅場 香
- P7-5 がん患者の心理社会的サポートサービスの利用を促進するチラシ開発の試み
大阪大学大学院 人間科学研究科 松井 智子
- P7-6 医療スタッフが運営する院内がんサロンの役割
—連続性を持たせたサポートプログラムの試みを通して—
横浜市立みなと赤十字病院 精神科（心理） 福榮 みか
- P7-7 がん患者を看病する配偶者の社会的問題とその支援ニーズの実態
東京医科歯科大学大学院心療・緩和医療学分野 天野可奈子
- P7-8 妊娠性温存診療における心理社会的サポート体制の実態と多職種連携
国立成育医療センター研究所 小泉 智恵
- P7-9 CLIMB® プログラムを実施して—親が、がんになった子どもたちの気持ちを支える—
上智大学グリーフケア研究所 人材養成講座 岡本 直子
- P7-10 CLIMB® プログラムにおける親グループの重要性
埼玉石心会病院 緩和医療科 岡本 信也
- P7-11 コミュニティサービス「キャンサーペアレンツ」活動報告
～こどもへの告知に関する調査、家族間交流の試み～
神戸労災病院 精神科・心療内科 大石 直子
- P7-12 若年期・中年期のがん患者が経験する社会的問題と心理的問題との関連
金沢医科大学 医学部 腫瘍内科学 久村 和穂

- P7-13 働く世代のがん患者の生活状況と心理社会的問題：婚姻・同居者・経済状況との関連
金沢医科大学 医学部 腫瘍内科学 久村 和穂
- P7-14 市民参加型ワールドカフェがレジリエンス獲得に寄与する可能性
富山市立富山市民病院 緩和ケア内科 桶口 史篤
- P7-15 統合失調症患者の住民がん検診受診率－市の検診受診記録を用いた単施設横断研究
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学 藤原 雅樹
- P7-16 中高年期がん患者のサバイバーシップを阻害する経済的・社会的要因の探索
関西医科大学心療内科学講座 大石 直子
- P7-17 がんサバイバーが感じるスティグマの頻度と関連因子
慶應義塾大学医学部精神神経科・緩和ケアセンター 藤澤 大介
- P7-18 AYA世代がんサバイバーの恋愛・結婚に対する認識の研究
国立がん研究センター がん対策情報センターがん医療支援部 山谷 佳子
- P7-19 小児期・AYA期発症がん経験者における就職活動時の周囲からの支援・関わりに対する評価
国立がん研究センター サバイバーシップ支援部 鷹田 佳典
- P8 リサーチ**
- P8-1 がん患者苦痛のスクリーニング精神面陽性患者に対する対応方法の検討
大崎市民病院 緩和ケアチーム 渡邊 裕美
- P8-2 タブレット端末を用いたがん患者へのPatient Reported Outcome調査の実施可能性
国立がん研究センター社会と健康研究センター健康支援研究部 川原 美紀
- P8-3 看護師による終末期患者の精神的心理的ケアとしての短期回想法の実施可能性の検討
聖マリア学院大学 看護学部 安藤 満代
- P8-4 婦人科がん患者の治療後の身体的不調がQOLに与える影響と
stress coping, social support, 自己効力感の関連性
国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センターがんサバイバーシップ支援部 富田真紀子
- P8-5 進行がん患者における抑うつに対する精神療法の有用性：系統的レビュー&メタアナリシス
名古屋市立大学病院 緩和ケア部 奥山 徹
- P8-6 がん患者に対する行動活性化療法の構成要素に関する文献レビュー
早稲田大学大学院 人間科学研究科 畑 琴音
- P8-7 がん医療における「正確な情報提供」を再考する－行動経済学の視点から－
東北大学大学院 教育学研究科 吉田 沙蘭
- P8-8 頭頸部がん患者に対するストレスマネジメント・プログラムのうつ症状低減効果：
ランダム化比較試験中間報告
東京医科歯科大学大学院 心療・緩和医療学分野 市倉加奈子
- P8-9 生き方尺度を用いたがん患者の入院時の実態
宮崎県立看護大学 重久加代子

P8-10 がん関連スティグマに関する尺度の系統的レビュー

慶應義塾大学 精神・神経科学研究室 竹内 恵美

P8-11 Bereavement Risk Assessment Tool (BRAT) 日本語版の実用化に向けた予備的調査の実施

東京都医学総合研究所 心の健康プロジェクト 廣岡 佳代

P9 その他

P9-1 がん患者の苦痛に関するスクリーニング・トリアージプログラムを普及するためのワークショップの有用性

名古屋市立大学病院 緩和ケア部 内田 恵

P9-2 経口抗がん剤を内服している大腸がん患者の服薬ノンアドヒアランスと服薬に伴う困難感との関連

東京大学医学部附属病院看護部 平尾千恵子

P9-3 病にかかわる体験が医学生に及ぼす影響

高知大学 医学部神経統御学講座神経精神科学教室 掛田 恭子

P9-4 熊本地震時に緩和ケアチームで臨んだこころのケアへの取り組み

熊本赤十字病院 診療支援課 村上 瑞梨

P9-5 東日本大震災を経験した精神科看護師へのアロマテラピー・トリートメントの意味

いわき明星大学 看護学部看護学科 精神看護学 荒井 春生